

インフルエンザ(2025年第51週)疫学情報 《コメント》

2025年第51週の定点当たり報告数は32.73(患者報告数126,127)となり、前週の定点当たり報告数36.96よりも減少した。都道府県別では宮崎県(94.75)、鹿児島県(76.54)、福岡県(63.69)、佐賀県(57.67)、長崎県(56.69)、高知県(54.92)、香川県(54.43)、徳島県(53.18)、島根県(52.95)、熊本県(52.72)、岡山県(52.36)、大分県(51.84)の順となった。全国47都道府県中、4都道府県では前週の報告数よりも増加し、43都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は1,895例であり、前週(1,899例)から減少した。47都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(91例)、1~4歳(285例)、5~9歳(203例)、10代(122例)、20代(45例)、30代(34例)、40代(26例)、50代(65例)、60代(141例)、70代(323例)、80歳以上(560例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近5週間(2025年第47週～2025年第51週)では、AH3亜型が506件(95%)、B型が21件(4%)、AH1pdm09が4件(1%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。